

第1学年社会科学学習指導案

日時 平成26年11月13日(木) 4校時
場所 奥州市立東水沢中学校
学級 1年5組(男子14名, 女子17名)
授業者 金野 暁人

1 単元名 (題材名)

第3章 「世界の諸地域」 第4節 北アメリカ州 ―さかんな農業や工業の特色―
3 工業の発展と工業地域

2 単元について

(1) 教材観

この単元は、学習指導要領地理的分野 2 内容 (1) 世界の様々な地域 ウ 世界の諸地域 に該当するものである。この単元の学習では、州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、そのうえで主題を設けて地域的特色を理解させることが求められている。そこで本単元では、はじめに北アメリカ州の自然・文化・産業・歴史的背景などについて生徒に概観させ、基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。次にアメリカ合衆国が長期にわたって農業・工業の面で世界の経済をリードし続けているという特色をとらえさせ、この単元の主題を「さかんな農業や工業の特色」と設定し学習を進めていく。そして最後に、現代のアメリカが抱える諸問題や世界に及ぼす影響について生徒に考えさせ単元のまとめを行う。

本時の題材であるアメリカの工業の特色については、「なぜアメリカは世界の工業をリードし続けていることができるのだろうか」という課題を設定し学習を進めていく。アメリカ合衆国が世界の工業をリードするようになったのは20世紀初頭からである。以後20世紀後半までは五大湖周辺を中心に鉄鋼や自動車・機械などの重工業が発展していった。しかし1970年代以降、原料の海外依存・企業のグローバル化・産業の空洞化などによりアメリカの重工業は次第に衰退していった。一方で北緯37度以南のサンベルトと呼ばれる地域では、石油化学工業や宇宙産業・コンピュータ産業など新たな分野の産業が発達していった。この事象の背景には、20世紀後半まで大西洋岸や五大湖沿岸の工業地域を中心にアメリカが豊かな鉱産資源と水運を利用して重工業を発展させたこと、20世紀後半以降はサンベルトで政府や企業が巨額な研究開発の投資を行い、アジア系やヒスパニックなどの移民をとりこみながら研究者や技術者の育成を図り、先端技術産業を発展させたことがあげられる。

現在アメリカ合衆国は自動車やコンピュータなどの分野では、安価な労働力をもつ中国・韓国などのアジア諸外国に生産量で追い抜かれている。しかしアメリカ合衆国の工業技術や開発力は、およそ1世紀にわたって世界の先端をリードし、それは現在でも継続している。この社会的事象についての理由を課題解決的に追及し、アメリカの工業の地域的特色について理解を深めることは、他国に対して知的財産権を主張しているアメリカの現状を理解するうえでも大いに意義があると考えられる。

(2) 指導観

単元を通して「北アメリカではどのような産業がさかんで、それはなぜなのか」という課題を生徒に意識させながら学習に取り組みさせていきたい。本時の導入の場面では、視聴覚機器を使用して資料の提示方法を工夫し「なぜアメリカは世界の工業をリードし続けていることができるのだろうか」という疑問をもたせ学習課題を設定する。課題に対して予想を立てる場面では、アメリカで発展した工業の種類と発展した要因について考えさせ、それが予想につながるよう発問を工夫したい。課題追求の場面では、視聴覚機器を活用して資料の見方や考え方の視点を生徒に与え、さらに資料を多面的・多角的に読み取ることで答えを導き出すことができるようなワークシートを使用する。ワークシートに取り組む場面では4人グループで活動を行い、学び合いが行われるようにしたい。そしてまとめの場面では、資料から判断できるキーワードをもとに、「アメリカ合衆国が世界の工業をリードし続けることができたのは、20世紀末までは大西洋岸や五大湖沿岸の工業地域で、豊かな鉱産資源を利用して重工業を発展させ、20世紀後半からはサンベルトで研究機関を中心に人材育成に力を入れてきたことが理由である」という内容をまとめさせたい。

この学級の生徒の学習定着度調査の質問紙調査では「社会科の授業の内容はよく分かりますか」とい

う項目で「よく分かる」が32%、「どちらかというよく分かる」が58%、「どちらかといえばよく分からない」が10%という結果で、5教科の中では2番目に高い。また、「社会科の授業が大切だ（必要だ）と思いますか」という項目では「そう思う」が71%、「どちらかというと思う」が26%、「どちらかといえばそう思わない」が3%という結果で、こちらも5教科の中では2番目に高い。分析すると教科に対する関心・意欲は比較的高い方であるが、学習内容の定着が十分でないという現状である。これまで課題解決的な学習を行うにあたっては、課題に対して興味関心をもつことができるよう導入教材を工夫してきたが、その教材から課題を導き出すことについてはまだ十分にできていない。グループ学習では学びあいや意見交流ができるグループとそうでないグループが分かれていたが、少しずつ資料から読み取った事実や考えを仲間に伝え合えるようになってきた。まとめの段階においては、自分の考えでまとめを作ることはまだ難しい状態である。

(3) 研究テーマに関わって

基礎的・基本的な技能を習得させるために、問題解決的な学習を取り入れる。また、資料活用や読み取りの技能・能力を育てるために、諸資料の特質に応じて資料活用の視点を提示する。さらに、学習内容の構造的な理解を促すために板書内容を工夫する。

3 本時の目標

(1) 目標

アメリカ合衆国の工業が世界をリードし続けている背景には、大西洋岸や五大湖沿岸の工業地域では豊かな鉱産資源を利用して重工業を発展させてきたこと、サンベルトでは巨額な研究開発の投資とアジア系やヒスパニックなどの移民をとりこんだ人材の育成を図ってきたことなどがあることを複数の資料から考察し、説明することができる。

(2) 本時の評価規準

観点	B おおむね満足できる	C 努力を要すると判断された生徒への手立て
技能	・アメリカの工業の発展した理由を示す複数の資料を、比較関連させながら正しく読み取っている。(ワークシート)	・資料の読み取りの方法についてグループまたは個人に机間指導に関わり、全体でも読み取り方を確認する。
思考・判断・表現	・アメリカの工業の発展の理由について、資料から考察し、キーワードをもとに説明している。(ワークシート)	・グループまたは個人に机間指導に関わり、キーワードの内容を再確認させる。また、全体でも内容を確認する。

(3) 展開

過程	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	1 複数の資料を見て気付いたことを発言する。 2 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">なぜアメリカは世界の工業をリードし続けることができるのだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を生み出すための導入資料 【資料1】アメリカの工業の世界的地位や工業地域の変遷を示す資料 	
展開 35分	3 課題に対する予想 4 資料を読み取り、課題を追求する。(4人グループ) <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋岸や五大湖沿岸の工業地域では豊かな鉱産資源を利用して重工業を発展させてきたことに気付く。 ・サンベルトで巨額な研究開発の投資とアジア系やヒスパニックなどの移民をとりこんだ人材の育成を図ってきたことに気付く。 5 全体交流を行う。(コの字) 6 まとめを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">アメリカが世界の工業をリードし続けていることができた理由は、古くから大西洋岸や五大湖沿岸の工業地域で豊かな鉱産資源を利用して重工業を発展させてきたからであり、最近ではサンベルトで巨額な研究開発の投資とアジア系やヒスパニックなどの移民をとりこんだ人材の育成を図ってきたからである。</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 視点1 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる工夫 ①問題解決的な学習 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・特色や工夫といった視点を与えて、予想させる。 ・ワークシート内容① 【資料2】世界におけるアメリカのおもな鉱産資源の生産割合と順位 【資料3】五大湖周辺の工業 【資料4】シリコンバレーの民族構成 【資料5】増加する研究開発への投資 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 視点2 資料活用や読み取りの技能・能力を育てる指導方法の工夫 ②諸資料の特質に応じた資料活用の視点の提示 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート内容② まとめの文章作成に使用するキーワードを意識付けさせる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 視点3 学習内容の構造的な理解を促すための工夫②板書内容の工夫 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート内容③ キーワードをもとにまとめの文章を完成させるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの工業の発展した理由を示す複数の資料を、比較関連させながら正しく読み取っている。(技能) ・アメリカの工業の発展の理由について、資料から考察し、キーワードをもとに説明している。(思考・判断・表現)
終末 5分	7 知的財産権を主張するアメリカの現状について説明する。 8 次時の予告		